

■ 令和7年度 12月追加補正予算(案)について

会計別予算規模及び補正予算の概要

- 今回の補正予算(案)は、一般会計及び特別会計・公営企業会計です。
- 一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出にそれぞれ2億4,602万1千円を追加し、補正後予算額を**292億3,442万2千円**とするものであり、給与改定に伴う人件費の増額及び、国の補正予算による財源措置を活用し、子育て世帯を支援するための物価高対応子育て応援手当の支給や生活者を支援するためのプレミアム商品券事業について計上しています。
- 特別会計及び公営企業会計における補正予算については、給与改定に伴う人件費の増額によるものです。
- 主な補正内容は、以下の表のとおりです。

予算額の状況

(単位:千円、%)

区分	令和7年度予算総額						備考
	当初予算額 (A)	前回までの補正額 (B)	現計予算額 (C)=(A)+(B)	12月補正額 (追加分) (D)	12月補正後予算額 (追加分) (C)+(D)	増減率 (D)/(C)	
一般会計 ①	27,630,026	1,358,375	28,988,401	246,021	29,234,422	0.8	
特別会計 ②	8,536,317	118,455	8,654,772	6,344	8,661,116	0.1	
小計 (①+②)	36,166,343	1,476,830	37,643,173	252,365	37,895,538	0.7	
公営企業会計 ③	7,281,137	7,422	7,288,559	64,093	7,352,652	0.9	
合計 (①+②+③)	43,447,480	1,484,252	44,931,732	316,458	45,248,190	0.7	

※ 公営企業会計(水道事業、下水道事業、工業用水、市民病院会計)は、収益的(3条)支出予算額、資本的(4条)支出予算額の合計額を計上しています。

補正予算説明

◎ 一般会計補正予算(第4号)の主要事業

(単位:千円)

款番号及び名称		予算額	主な内容 <追加補正前予算額+今回補正予算額=補正後予算額>
3	民生費	(7,135,235) <u>81,037</u> 7,216,272	<ul style="list-style-type: none"> 物価高対応子育て応援手当支給事業 < 0 + 56,000 = 56,000 > 【子育て支援課】 児童手当の給付対象者に対し、対象児童一人につき2万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給します。 物価高対応子育て応援手当支給事業（事務費） < 0 + 3,860 = 3,860 > 【子育て支援課】 「物価高対応子育て応援手当」の支給事務の経費を追加します。
7	商工費	(628,239) <u>85,851</u> 714,090	<ul style="list-style-type: none"> 【高騰】国東に元気を！地域消費喚起プレミアム商品券事業 < 0 + 84,031 = 84,031 > 【観光・地域産業創造課】 物価高騰の影響を受ける市民生活を支えるためプレミアム率30%の商品券を発行します。

※予算額欄の上段()は追加補正前予算額、中段は今回補正予算額、下段は補正後予算額です。

補正予算説明

◎ 一般会計補正予算(第4号)の財源

(単位:千円)

款番号及び名称		予算額	主な内容 <追加補正前予算額+今回補正予算額=補正後予算額>
15	国庫支出金	(3,056,906) 89,376 3,146,282	<ul style="list-style-type: none"> 物価高対応重点支援地方創生臨時交付金 < 224,872 + 29,516 = 254,388 > 物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金（事業費補助金）< 0 + 56,000 = 56,000 > 物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金（事務費補助金）< 0 + 3,860 = 3,860 >
16	県支出金	(2,143,115) 54,515 2,197,630	<ul style="list-style-type: none"> 地域消費喚起プレミアム商品券事業費補助金 < 0 + 54,515 = 54,515 >
19	繰入金	(2,624,063) 102,130 2,726,193	<ul style="list-style-type: none"> 財政調整基金繰入金 < 805,578 + 102,130 = 907,708 >

※予算額欄の上段()は追加補正前予算額、中段は今回補正予算額、下段は補正後予算額です。